



総合・行政・海外

15万円を上限に

スキャンツール補助金申請

国交省 24日から受け付け

国土交通省は6日、スキャンツール（外部故障診断機）補助金の申請受け付けを24日から始めると発表した。今年度は補助額上限を前年度の10万円から15万円に増やしたほか、タブレット端末などと連携するスキャンツールも補助対象とする。公募期間も10月末までの3カ月間とし、先着順で交付決定する。

今年度の予算は約1億6千万円。道路運送車両法に基づく自動車分解整備事業者、優良自動車整備事業者が対象。……
タブレット併用型も補助対象とする（イメージ）

事業場あたり最大15万円を補助し、補助額内なら台数制限はない。従来型スキャンツールに加え、OBD（車載式自己診断装置）につないだ機器からタブレット端末やノートパソコン

に組み込んだソフトで作業するスキャンツールも対象とする。タブレットなども補助対象に含めるが、スキャンツール作業に使うことを条件とする。目的外使用が判明した場合は、補助金の不正受給と

して処罰対象になるので注意が必要だ。デスクトップ型パソコンは対象外となる。このほか、診断結果をパソコンやメモリーカードなどにより外部に出力する機能も必須とする。補助金を受け取った事業者は、最低20台以上の診断結果を国に報告する必要がある。前年度までは、公募期間を1カ月程度とし、補助金が余れば再公募していたが、今回は公募期間を3カ月に延ばす代わりに再公募はしない方針。対

象となるスキャンツールや公募額など詳細は、補助実務を受託したパシフィックコンサルタンスのウェブサイトで公開する。